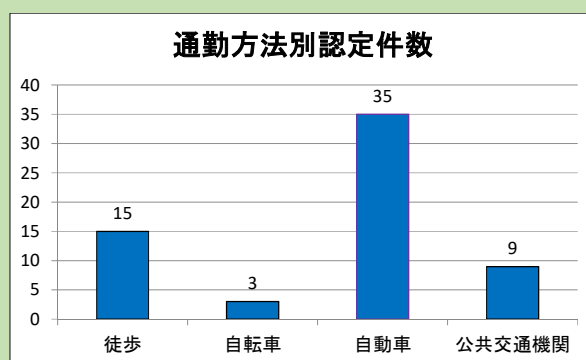
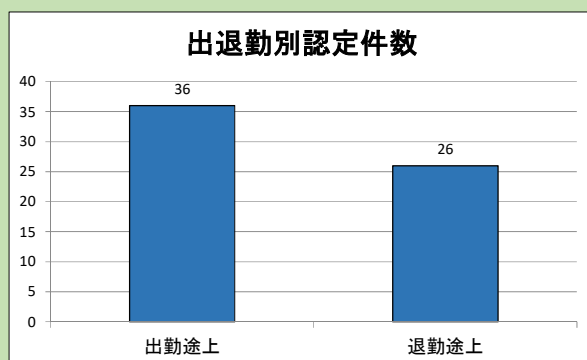
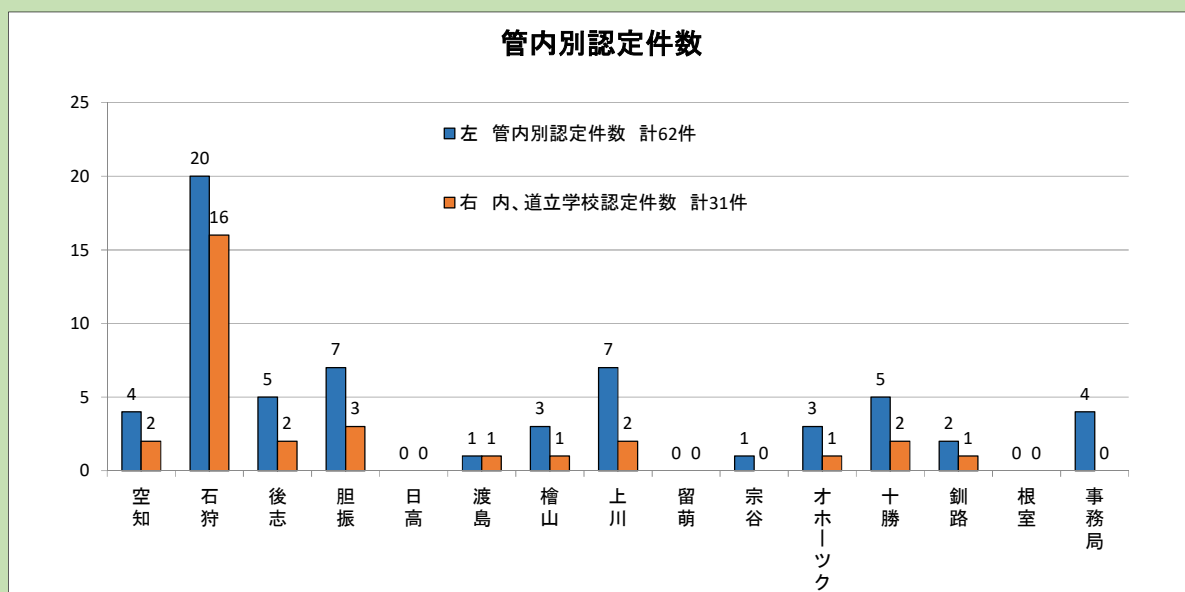
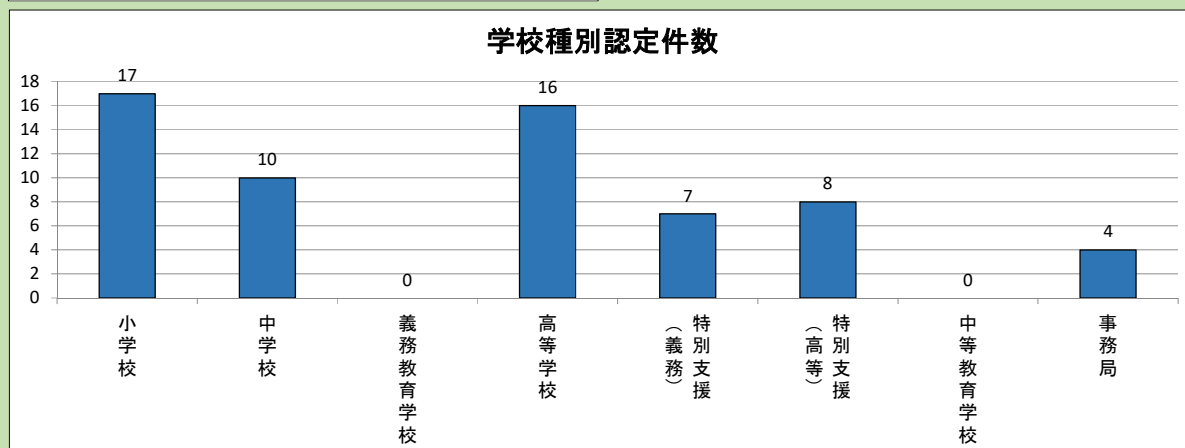
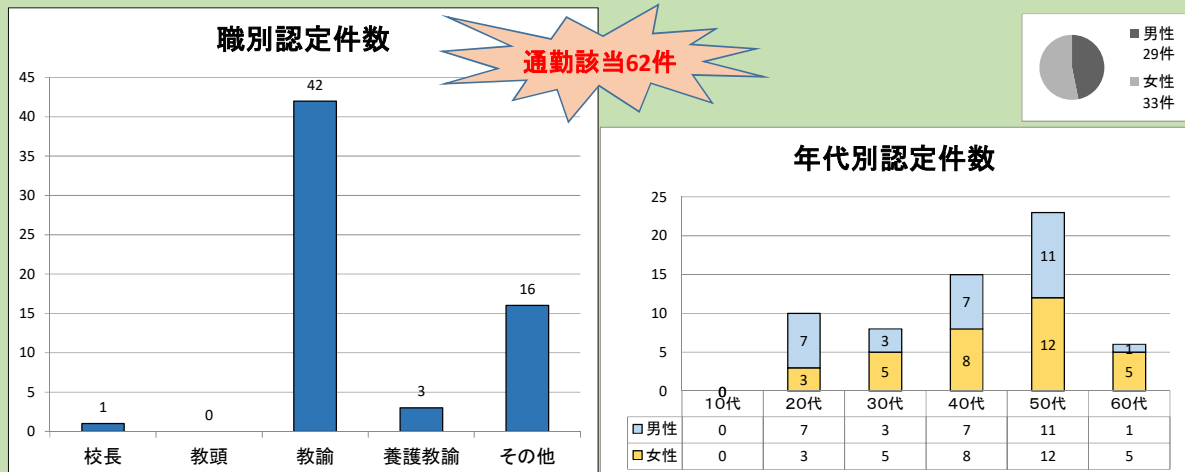


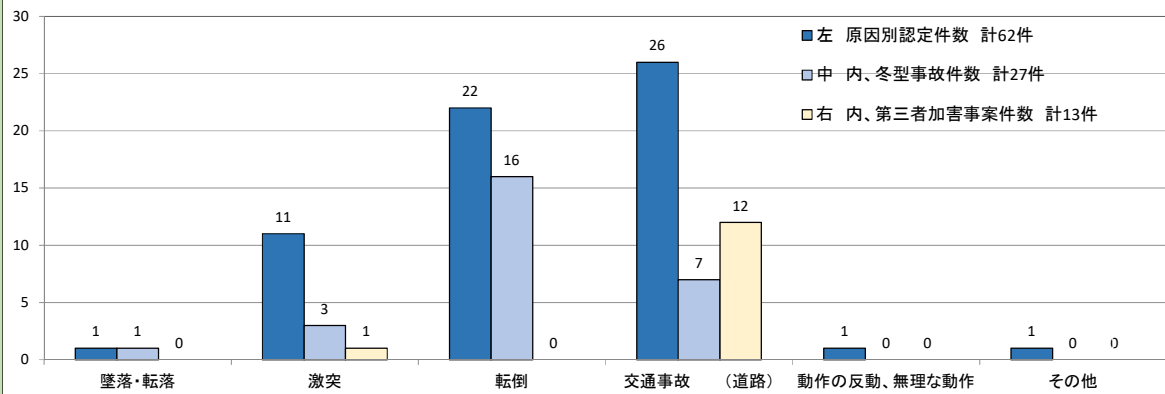
令和5年度通勤災害の状況

資料

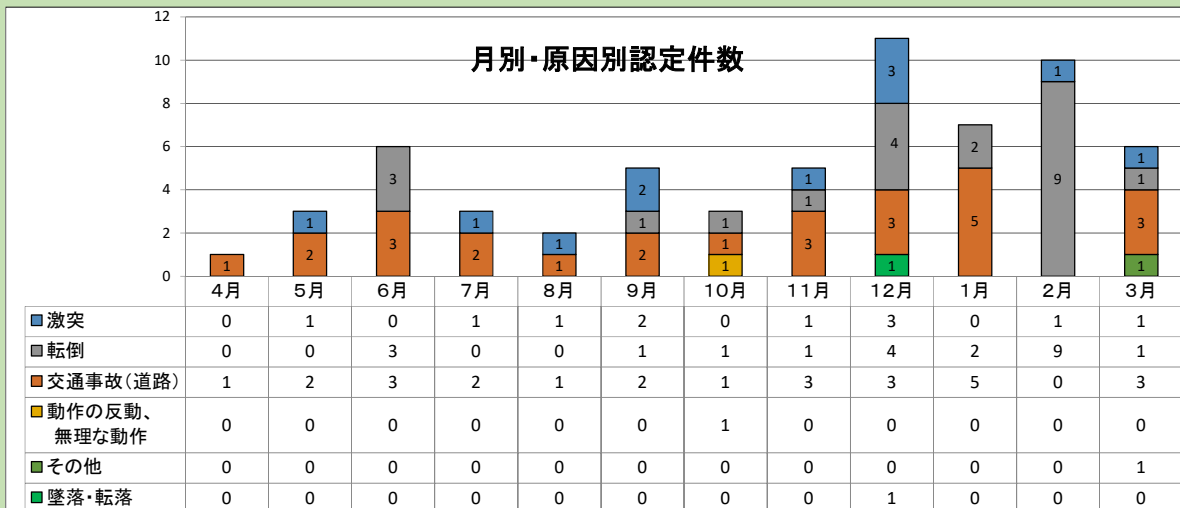
※再発・追加を含む。



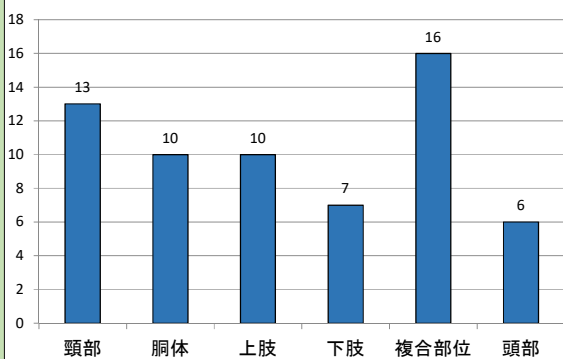
原因別認定件数



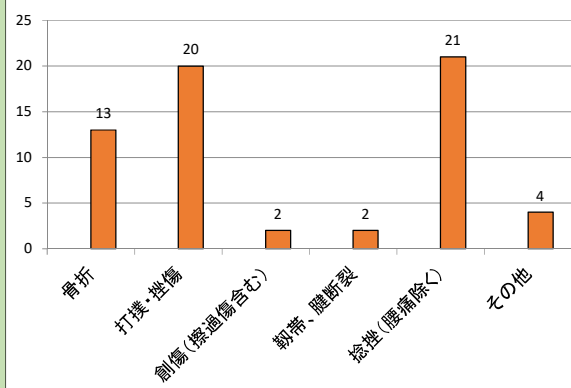
月別・原因別認定件数



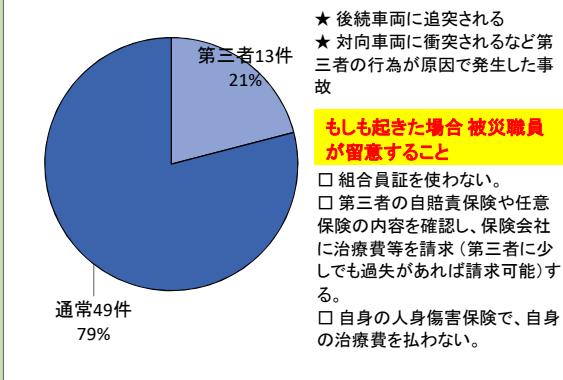
傷病部位別認定件数



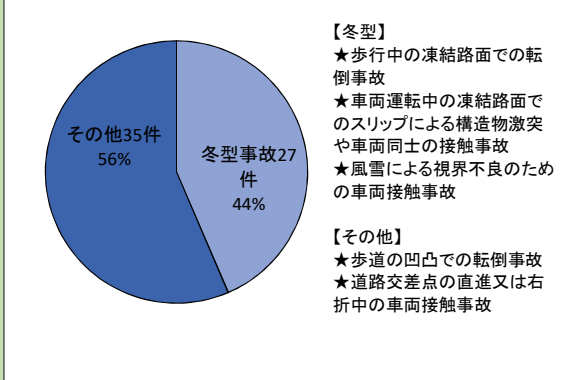
主たる傷病別認定件数



第三者加害事案件数割合



冬型事故件数割合



主な発生原因分析

- 男女別では女性職員が1割程度多い傾向である。
(男性 29人、女性 33人)
- 年代別では男女ともに50代が多い。また、50代と40代で半分以上を占めている。(50代 23人、40代 15人)
- 全体件数は前年より大幅に増加し、冬型の事故件数も前年より増加している。
(R4 全体:34件 R5 全体:62件)
(R4 冬型:21件 R5 冬型:27件)
- 車両との接触等による第三者加害は前年より3件増加している。
(R4 10件 R5 13件)
- 出退勤別では、出勤時の被災が多く、約6割を占める。

未然防止

- 日頃から、時間にゆとりを持った行動を心がける。
- 道路交通法を遵守する。
- 自転車走行の際は、道路標識、道路標示に留意する。
- 自転車走行に支障がないかハンドル、ブレーキ等を確認する。
- 日頃から、睡眠不足とならないよう、健康管理に留意する。
- 冬道歩行の際、両手で荷物を持たないようにし、両手がふさがないように心がける。など・・・

リーフレット「公務(通勤)災害を未然に防止するために」参照

【令和5年度の認定事例】

転 倒 (通常)	出勤時にJRIに乗車するため自宅を出て駅に向かって歩道を歩いていたところ、歩道路面のインターロッキングブロックが隆起しているところにつまづき転倒し、下顎を強打し負傷した。(60代 女性)
転 倒 (冬型)	自動二輪車で出勤途上、走行車線に点在していた砂利にタイヤを取られ、スリップして、自動二輪車右側から転倒した。その際に右肘を強打し、負傷した。(20代 男性)
	徒歩で退勤途中、校門前の路面が凍結していたため、足を滑らせ後方に転倒した。その際に、左手を路面につき、負傷した。(50代 男性)
交通事故 (通常)	自家用車にて出勤途上、走行中に窓から数匹の蜂が車内に入ってきたため、驚いて、急ハンドルを切り、路肩から3メートル程下の林の中に落ちた。事故の衝撃によりハンドルに胸を打ち、負傷した。(30代 女性)
	自家用車で通勤途上、助手席に置いていた朝食をとろうと意識が前方から外れた際に、前方の車に追突した。(20代 女性)
	自家用車で退勤中、一時停止をしてから左折して道路に侵入しようとしたところ、右から直進してくる車を確認していたが、先に左折して道路に侵入できると判断して発進したところ、その車と衝突し、負傷した。(50代 男性)
交通事故 (冬型)	帰宅途中、カーブで減速したが、圧雪路面でスリップしてしまい、センターラインを超え対向車に右前方同士衝突し、負傷したもの。(50代 男性)
	自家用車で出勤中、左車線を走行していた際に前方の車が減速したため右車線に車線変更したところ、路面凍結でスリップし、対向車線で右折するために停車していた先頭車から2台目の車に衝突し、その衝撃で体に力が入ってしまい、首を負傷したもの。(20代 男性)

※ いずれの事故も、中断・逸脱のない合理的な経路で発生した。